

税金について学ぼう



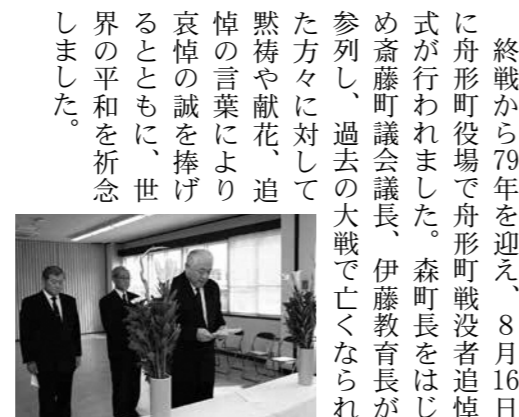
山形県租税教育推進協議会の租税教室が6月26日に舟形小学校で6年生を対象に、7月17日には舟形中学校3年生を対象に、町住民税務課の職員が講師となり開催されました。この取組みは、次代を担う児童・生徒から税の意義や役割を正しく理解してもらうことを目的に開催しています。  
 児童・生徒のみなさんは、講義のほか税に関するビデオ教材の上映や、1億円のレプリカに触る体験などをとおし、私たちの生活への税金の関連性について学びました。

第2期専門職大学  
 アパート建設起工式



7月23日、舟形野々田地内で山形県立東北農林専門職大学の学生向け第2期民間アパートの起工式が行われました。アパートの建設・運営・管理は町と協定を連携縮結した株式会社クリエイト礼文（山形市）が行ない、令和7年3月に完成予定です。  
 町では、学生がアパートに住み、様々な活動が展開されることで、地域活性化が図られるものと期待しています。7月14日開催の大学のオープンキャンパスでPRをしていて、たくさんの方の入居申込みがありました。

平和を祈念して



終戦から79年を迎え、8月16日に舟形町役場で舟形町戦没者追悼式が行われました。森町長をはじめ、斎藤町議会議長、伊藤教育長が参列し、過去の戦で亡くなられた方々に対して黙祷や献花、追悼の言葉により哀悼の誠を捧げるとともに、世界の平和を祈念しました。

きれいな故郷に  
 帰ってきてね



7月31日、内山老人クラブ笑生会（会長 山崎和男さん）の23名のみなさんが、あいさつ橋周辺の草刈りや清掃などを行いました。この活動はお盆を迎える前に毎年行われていて、参加者は家族が無事に帰ってくることを楽しみに作業に励んでいました。

夏休みの課題に取り組もう



7月29日～31日の3日間、舟形小・中学校で夏休み学習会が開催されました。学習内容の定着に向け、児童・生徒が集まって夏休みの課題に取り組みました。学習の支援には町特別支援教育支援員と高校生ボランティア「ふなっ子」があたりました。

考えよう  
 「みんな」の人権



8月14日、舟形町人権擁護委員のみなさんが二十歳の祝賀式に合わせ、人権意識の向上のための啓発活動を行いました。人権は身近なものであり、人権の尊重は私たち一人ひとりが考えていかなければならないという意識を若い人たちに持つてもらおうことを目的に今回初めて実施しました。

夏の夕暮れ  
 みんなで本の世界へ



8月2日、福祉避難所「てとて」で夕涼み読書会が開催されました。これは、舟形町読書会が主催する読書会「めがみちゃん」の会が主催して実施されたもので、児童や保護者など約60名が参加しました。  
 大型紙芝居「ふるやのもり」、大型絵本「スイミー」などの読み聞かせのほか、高校生ボランティア「ふなっ子」が舟形町クイズやじゃんけん列車の出し物をしました。ふなっ子の沼澤愛さんは「子どもたちが喜んでくれて良かったです」と話してくれました。

通いの場で  
 体力測定を実施



8月9日、沖の原公民館でいきいき百歳体操に取り組んでいるみなさんの体力測定が行われました。町では、みなさんが健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、身近な場所で自主的に介護予防に役立つ活動を継続する「通いの場」の取組みをすすめています。その取組み支援の1つとして、百歳体操団体を対象に年に1回体力測定を行っています。1年の成果を振り返ることで自分の身体状態を知る良い機会となっています。ぜひ近所の「通いの場」へ足を運んでみてください。

富田八幡神社祭典  
 神輿渡御



8月15日、富田連合町内会で桜睡会の万灯神輿と子ども神輿が、町内を練り歩きました。

舟形本町地区  
 舟形八幡神社例大祭



8月15日、舟形八幡神社で例大祭の神事が行われ、その後、神輿が町内に練り出しました。

台湾東部沖地震被災地支援募金

台湾地震被災地支援募金は6月30日で受付を終了しました。たくさんの方の募金をお寄せいただきありがとうございました。

募金額 14,070円

能登半島地震被災地支援募金

町では、令和6年1月1日に発生した能登地方を震源とする地震で被災された方々を支援するため、義援金を受付しています。その経過についてお知らせします。

募金額 817,654円 (7月31日現在)

※寄付金は、舟形町社会福祉協議会を通じて日本赤十字社に届けられます。

▼問い合わせ/舟形町総務課総務係 ☎ (32) 2111